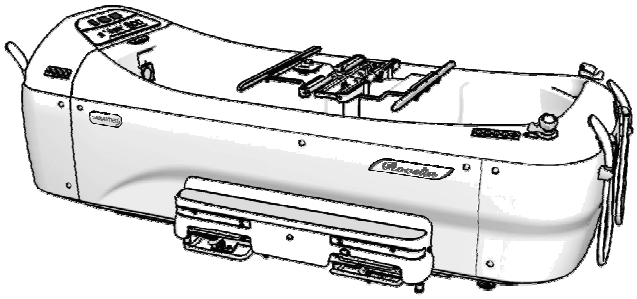
SAKAImed

順送式入浴装置 介護エイドバス

ロベリア

ROB−400C/R/L

取 扱 説 明 書



●このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。

●「取扱説明書」は
- １部を現場用として、常に参照できる状態を保ってください。
- １部を保存用として、大切に保管してください。

ご使用になる前に …… 2
- 安全上のご注意 …… 2
- 各部の名称 …… 11
  - ・浴槽本体：センタータイプ …… 11
  - ・給湯操作部 …… 13
  - ・入出浴操作部 …… 15
- 組み合わせ …… 16
- 始業点検について …… 17
- 入浴剤、薬液の使用について …… 19
  - ・入浴剤について …… 19
  - ・薬液について …… 19

操作方法 …… 20
- 電源の操作 …… 20
  - ・電源を入れる …… 20
  - ・電源を切る …… 21
- お湯をはる …… 22
  - ・排水栓を閉じる …… 22
  - ・自動給湯で給湯する …… 23
  - ・差し湯で給湯する …… 24
  - ・給湯が停止した場合 …… 25
- 入出浴作業 …… 26
  - ・ストレッチャーを浴槽へ連結させる …… 26
  - ・担架を浴槽内へ移動させる …… 28
  - ・浴槽を上昇させ入浴させる …… 29
  - ・入浴時間表示の見方 …… 30
  - ・浴槽を下降させ出浴させる …… 31
  - ・担架をストレッチャーへ移動させる …… 32
  - ・ストレッチャーの連結解除 …… 33
- バブラーの使い方 …… 34
- シャワーの使い方 …… 35
- 塩素殺菌 …… 37
  - ・浴槽殺菌 …… 37
  - ・浴槽水殺菌 …… 38
  - ・薬液補充について …… 39

日常のお手入れ …… 42
- 清 掃 …… 42
- メンテナンス …… 42

このようなときは …… 43

機器について …… 48
- 保守・点検について …… 48
- 保証とアフターサービス …… 49
- 仕 様 …… 51

01-180⑧L7

用 途

本製品は、介助を必要とする入浴者を担架に寝かせた状態で、快適かつ容易に入浴させることのできる順送式入浴装置です。

特 長

●ストレッチャーがラクラク連結

ストレッチャーを浴槽へ連結する際、正規の位置から左右に各 100 ミリの範囲内に押し付けるだけで、自動的に正規の位置にスライドし、連結します。

●腰への負担を軽減

オートスライドと中央スライド式水受盤により、浴槽のロック位置が 440 ミリ接近するので、前傾姿勢による腰への負担を軽減しています。

●スイッチ操作でラクラク温度設定

電子制御ミキシングの採用により、安定した給湯が可能になりました。給湯温度の設定はスイッチ操作で簡単設定。

●静かな昇降動作

駆動源に電動アクチュエーターを採用し昇降操作の騒音が小さくなりました。

●トップクラスの省湯量設計

順送式タイプの大型浴槽の中では、業界トップの省湯量設計です。

（2008 年 8 月現在当社調べ）

●見やすい給湯操作部

浴槽が上昇している状態でも、入浴中に知りたい情報（浴槽内湯温、給湯温度、入浴時間）を見やすい角度で大きく表示しています。

本書に記載されている会社名および製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

ご使用になる前に

安全上のご注意

本製品を安全に正しくご使用していただくために、各注意事項をよくお読みのうえ、必ずお守りください。

表示について

危険や損害の程度を以下に区分し、表示しています。

⚠危険	取り扱いを誤ると、**「死亡または重傷を負うことに至る」**ことを示しています。
⚠警告	取り扱いを誤ると、**「死亡または重傷を負う可能性が想定される」**ことを示しています。
⚠注意	取り扱いを誤ると、**「傷害または物的損害の発生が想定される」**ことを示しています。

絵表示の意味

禁止	行為を禁止することを示した表示です。
強制	必ず実行していただくことを示した表示です。

ご使用になる前に／安全上のご注意

電源・給湯水圧

⚠警告

電源の接続、及び修理は行わないこと

正しく接続しないと故障や事故の原因になります。

給湯水の接続、及び修理は行わないこと

正しく接続しないと水もれ等の故障や事故の原因になります。

給湯水圧は、適正圧力及び適正圧力比の範囲内であること

湯・水の適正使用範囲は 120～150kPa（約 1.2～1.5kg/㎠）　、圧力比は最大 2：1 です。

- 適正範囲を外れると給湯やシャワーの湯温が変動し、やけどをする恐れがあります。
- 配管の破損や水漏れが発生する恐れがあります。

⚠注意

使用電圧は三相 200Ｖ±5%の範囲内で使用する

使用電圧が指定範囲外の場合、機器の故障及び誤作動の原因となります。

担架上への移乗

⚠警告

担架上へ入浴者を移乗させるときは、ストレッチャーのキャスターをロック

ロックしていないと、移乗時にストレッチャーが動き出し事故の原因になります。

サイドフェンスを倒してトランスファーボードとして使用するときは、サイドフェンスが相手側の支持で安定していることを確認

移動用ストレッチャーにサイドフェンスが載っていないと、落下の恐れがあります。

入浴者を担架に移乗させたら、上肢用・下肢用のサイドフェンスを起こしてロック確認

サイドフェンスのロックが不十分だと、落下の恐れがあります。

担架に入浴者を乗せたら、3本の安全ベルトを装着する

- ベルトをしないと入浴者が動いて担架から落下したり、足がはみ出して挟み込まれる恐れがあります。
- 浮力により腰の位置がずれて、水没する恐れがあります。

安全ベルトは、入浴者の体格に合せて長さを調節する

- ベルトの長さが適切でないと、身体がずれて落下する恐れがあります。
- ベルトやバックルと皮膚が擦れてけがをする恐れがあります。

担架上の作業

⚠警告

担架上での移乗・洗髪・洗身作業時は、入浴者の落下に注意

- 担架上での体位変換作業は、作業の反対側のサイドフェンスを起こしたまま行ってください。
- 安全ベルトを外したときには、入浴者のそばから離れないでください。

洗髪時はストレッチャーの排水栓を抜き、排水しながら行う

髪がストレッチャーの担架スライド防止機構部や担架のローラーにからみ、故障の原因となります。

ストレッチャーの連結操作

⚠警告

ストレッチャーを浴槽へ連結後、連結完了ランプの点灯を確認すること

連結が不十分だと、担架の脱落などの原因になります。

担架のロック解除レバーは、連結ランプの点灯を確認するまで操作しない

センタリング中に担架のロック解除レバーを握り、担架を浴槽内に移動させようとすると、担架がレールから脱線し、落下する恐れがあります。

⚠注意

ストレッチャーを浴槽へ連結させるときは、ストレッチャーを上限まで上昇させること（昇降式ストレッチャーのみ）

ストレッチャーを上限まで上昇させていない状態で、担架を浴槽内へ移動させると、浴槽に担架が当たり、担架や浴槽が破損する恐れがあります。

センタリング中は、介助者の足元に注意する

センタリング中はストレッチャーが動くため、ストレッチャーのキャスターの近くに足を置くと挟み込む恐れがあります。

ご使用になる前に／安全上のご注意

ストレッチャーの連結解除操作

⚠注意

解除ペダルには極端な荷重をかけない
ペダルのフレームが変形したり破損する恐れがあります。

担架がストレッチャー、または浴槽にロックされたことを確認するまで解除ペダルを踏まない
万一の担架脱落事故を防止します。

介助者の手の挟み込みに注意
ストレッチャーの水受盤中央のスライド板は、浴槽と連結を解除すると自動的に戻りますので指などを挟まれないように注意してください。

ペダルを踏んだままストレッチャーを移動しない
機器を破損する恐れがあります。

担架の浴槽内⇔ストレッチャー間の移動

⚠警告

担架を移動する時は、ストレッチャーを上限まで上昇させること（昇降式ストレッチャーのみ）
ストレッチャーと浴槽のレールの高さが合っていないと、担架が脱落する恐れがあります。

担架の移動は、最後まで手を添えてゆっくりと行う
移動中に手を離すとロック時の衝撃が強く、入浴者に不安感を与えてしまいます。
繰り返し勢いよく担架を押すと、担架が破損し落下事故の原因になります。

担架が移動し始めたら、担架ロック解除レバーから指を離す
レバーを持上げたまま移動させると、担架が正規の位置でロックされず脱落する恐れがあります。

担架を移動し、浴槽またはストレッチャーにロックした後は、担架を押し引きしてロックを確認
担架がロックされていない状態で、ストレッチャーを切り離すと、担架が脱落する恐れがあります。

介助者の手の挟み込みに注意
担架をストレッチャーまたは浴槽へ移動する際には、担架座面部の裏側に手を入れないでください。手が挟まれけがをする恐れがあります。

⚠注意

レール台の上に物を置かない
担架を浴槽内へ移動するときに、挟み込み等を起こして思わぬ故障の原因になります。

入浴

⚠警告

入浴前に、浴槽内の湯温を「浴槽内湯温」表示と手で確認
やけどの恐れがあります。

給湯や差し湯を行うときは、「給湯温度」表示と手で湯温を確認
給湯・給水の圧力の急変により、一時的に給湯湯温が急に変わる恐れがあります。

入浴中に高温の湯を差し湯するときは、入浴者の足先にかからないように注意
やけどの恐れがあります。

入浴中は入浴者の状態を常に看視すること
入浴中に入浴者の姿勢が崩れた場合、水没する恐れがあります。

入浴スイッチを押す前に担架のロックを確認
担架を浴槽にロックさせたら、確実にロックされているか担架を押し引きして確認してください。

⚠注意

入浴スイッチを押す前に、浴槽内に不要物がないことを確認
浴槽の中などに手桶やタオル等があると、挟み込み等を起こし故障の原因になります。

出浴

⚠警告

浴槽を下降させるときは、入浴者の状態に注意
担架上から手足がはみ出ていた場合、浴槽下降時に身体を挟み込む恐れがあります。

⚠注意

入浴中に、担架が載っているストレッチャー連結側の出浴スイッチを押さないこと
担架同士が接触し、機器を破損する恐れがあります。

出浴動作後、担架が載っているストレッチャー連結側の出浴スイッチを押さないこと
担架同士が接触し、機器を破損する恐れがあります。

シャワー

⚠警告

入浴者にシャワーをかけたままの状態で離れない

介助者が離れている間に温度が急変した場合、やけどをする恐れがあります。

シャワーを入浴者にかける前や使用中にも手で湯温を確認

- 給湯・給水の水圧の急変により、シャワーの温度が急に変わることがあります。
- 温度調節後、設定温度になるまで湯を出し続けてください。

ハンドシャワーで高温のお湯を使用した後は、温度調節ノブを適温に戻す

温度調節ノブを高温側のままにすると、次に使用するときにやけどをする恐れがあります。
低温側に回して、適温になるまで湯を流してください。

⚠注意

流量調節ノブはゆっくり操作する

湯量調節ノブを止まる側に急に回すと、水圧が高くなり配管から水漏れを起こす原因になります。

シャワー使用後は、シャワーの開閉ボタンを「開く」の状態にしたまま、湯量調節ノブでシャワーを止める

開閉ボタンにて長時間止水させた場合、水漏れする恐れがあり、シャワーヘッドの寿命が短くなります。

ご使用になる前に／安全上のご注意

塩素殺菌

⚠危険

次亜塩素酸ナトリウムは酸性の製品の近くに置いたり、一緒に用いない

人体に有害な塩素ガス等の発生の恐れがあります。万一塩素ガスを吸込んだ場合は、直ちに医師の診察を受けてください。

⚠警告

誤って薬液を飲んだり、目に入った場合は、応急処置後、医師に相談する

- 飲み込んだときは吐かせずに多量の水や牛乳を飲ませ､｢次亜塩素酸ナトリウム｣を飲んだと言って医師に相談してください。
- 万一目に入ったときはすぐにきれいな水で 15 分以上洗い流し、医師の診察を受けてください。

⚠注意

当社指定外の薬液を使用しない

当社指定外の薬液を使用すると、浴槽の金属部や電気部品、ゴム部品等を腐食させる恐れがあります。当社指定以外の薬液のご使用により装置が故障した場合は、保証期間内の製品でも、保証対象となりませんのでご注意ください。

薬液補充の際は下記事項に注意する

- 十分に換気を行い、保護具（ゴム手袋）を着用してください。
- 浴槽を最下位まで下げた状態で行ってください。
- 周囲に薬液がこぼれた場合は水でよく洗い流してください。床やフレーム等の変色や錆の原因となります。
- 希釈した薬液は、1 回毎に使い切り、作り置きはしないでください。
- 空になった容器は、よく洗い流して保管してください。

タンクへの補充薬液は濃度が 1.5%のものを使用する

濃度が異なる薬液の使用は、殺菌効果への影響や、機器の故障につながります。

使用期限内の薬液を使用する

薬液は、経時変化により殺菌効果が弱くなります。容器に表示されている使用期限内でご使用ください。

薬液が誤って人体または衣服についた場合は、すぐにきれいな水で洗い流す

薬液が皮膚、または衣類についたときはぬめり感がなくなるまで洗い流してください。薬液が衣類につくと、強い漂白力があり脱色しますので注意してください。

薬液の排出の際は注意する

十分に換気を行い、保護具（ゴム手袋）を着用してください。
排出する薬液は濃度を水で十分に薄めてから処理してください。

入浴剤

⚠注意

イオウ成分の入った入浴剤は、使用しない

使用になると、浴槽の金属部が腐食等を起こしたり、浴槽表面の光沢を失ったりする恐れがあります。

粉末状の入浴剤は使用しない

使用になると、溶け残ったものが配管内に付着して故障の原因になる恐れがありますので、入浴剤は液状のものを使用してください。
どうしても粉末状の入浴剤を使用したい場合は、別容器でよく溶かしてから使用してください。
ただし、粉末状の入浴剤を使用したことによる故障については、保証期間内の製品でも保証対象となりませんのでご注意ください。

着色剤が入った入浴剤を使用する際は注意する

色や、においが付くことがありますのでご注意ください。

使用後

⚠注意

操作スイッチに水をかけない

水がかかると電気系統の故障の原因になります。

使用後は、浴槽内の湯を排水する

水垢などが浴槽にこびりつき、汚れが落ちにくくなるので、浴槽内のお湯を排水し、清掃してください。

使用後は、換気を行い室内の湿度を下げる

湿気による錆やかびなどの発生を抑えます。

使用後は電源スイッチで電源を切ってから、配電盤内にある専用の安全ブレーカーを切る

浴槽操作部の電源を切る前に配電盤内にある専用安全ブレーカーを切ると、万一給湯中だった場合、浴槽内に給湯をし続けてしまいます。

その他

⚠注意

給湯操作部後側のメンテナンスカバーを勝手に開けない

メイン操作部後部側のカバーはメンテナンス専用です。サービスマン以外の方は、絶対にカバーを取り外さないでください。

ガイド連結部のフレームを故意に踏まない

フレーム部に極端に加重をかけると変形する恐れがあり、機器の故障の原因となります。

付属のシリコングリスを使用する

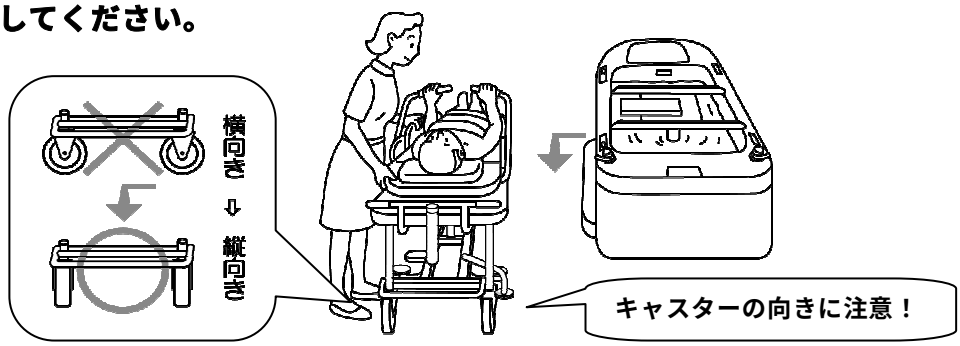
当社指定以外のグリスを使用すると、故障の原因になります。

心臓用ペースメーカーを使用している方を入浴させるときは、医師に相談する

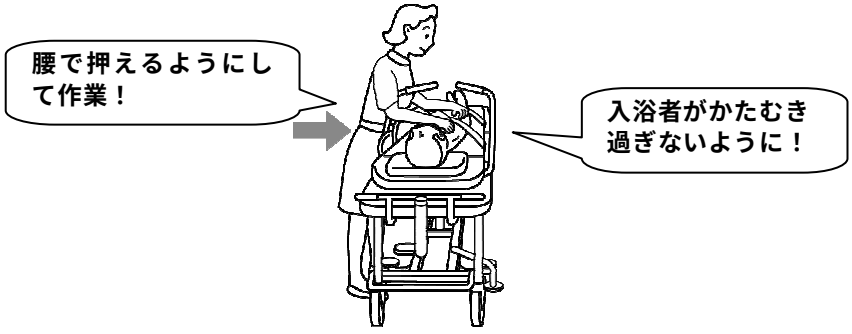
本製品が、ペースメーカーに影響を与えることがあります。

安全のための取扱い注意

ストレッチャーを移動した後は、ストレッチャーの転倒を予防するために、ストレッチャーを縦方向に動かしてキャスターを縦向きにしてから、キャスターをロックしてください。



洗身作業などで、入浴者を側臥位にする場合は、ストレッチャーの転倒を予防するために、担架やサイドフェンスを腰で押えるようにして作業してください。

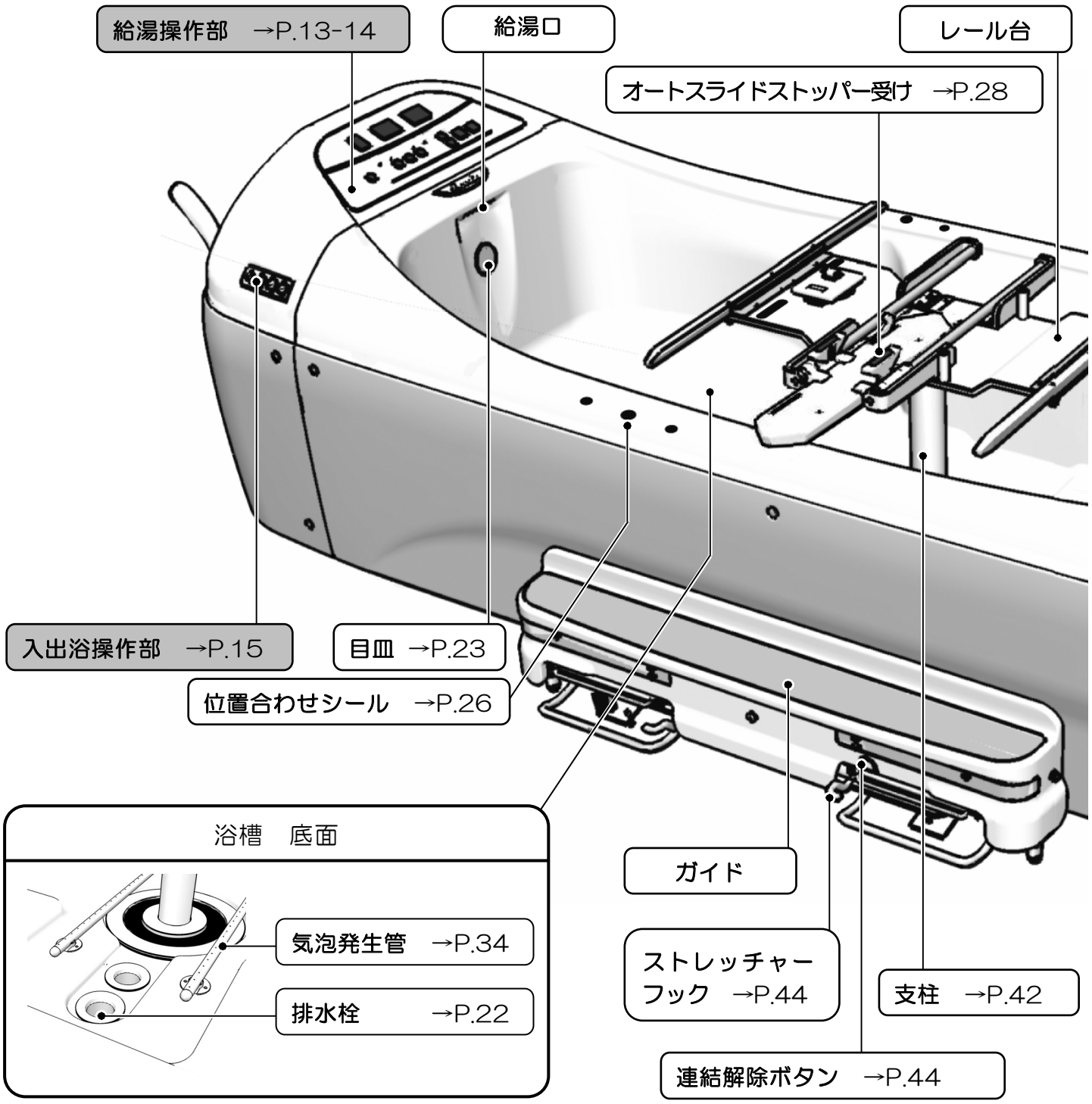


ご使用になる前に

各部の名称

浴槽本体:センタータイプ

(R/L タイプは入出浴操作部、シャワーミキシング、ハンドシャワー、ガイドが片側のみとなります)

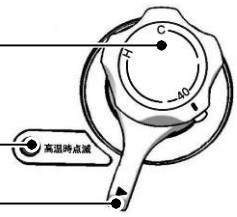


シャワーミキシング　→P.35-36

温度調節ノブ　→P.35

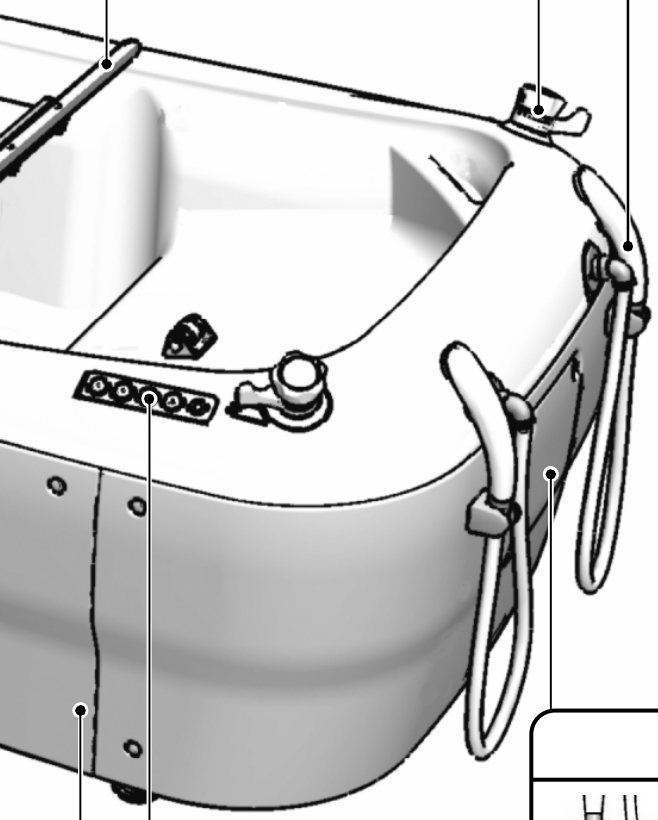
高温警告ランプ　→P.36

流量調節レバー　→P.35

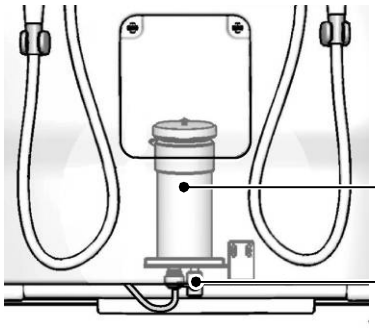


レール

ハンドシャワー　→P.36



薬液メンテナンスカバー　→P.40



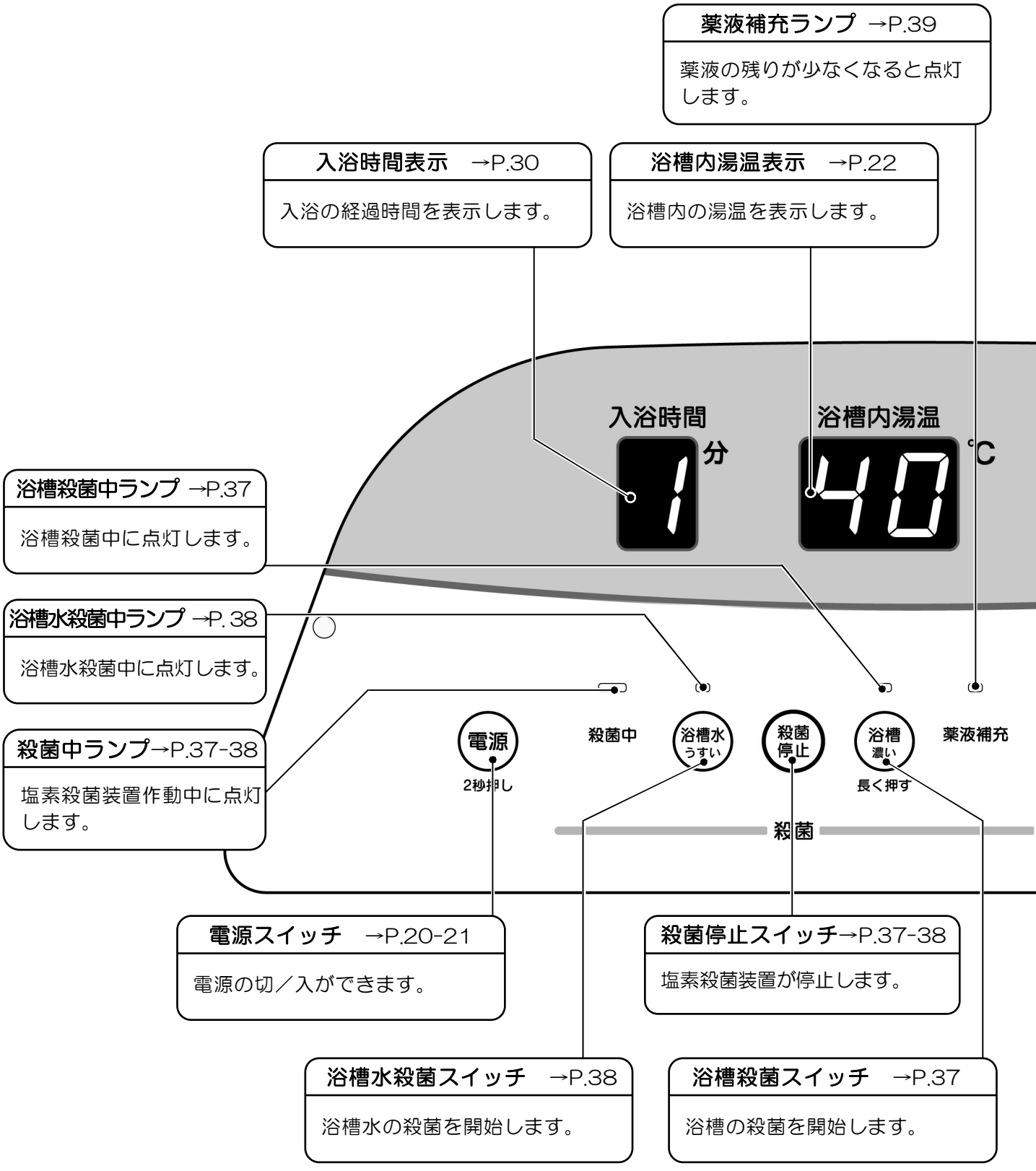
薬液タンク　→P.40

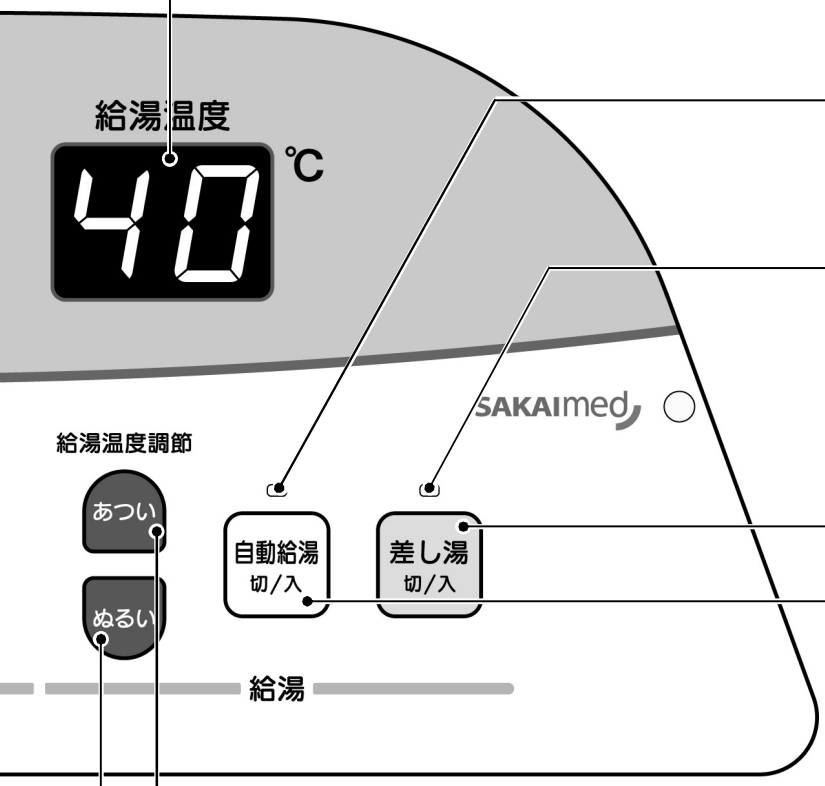
ドレンコック　→P.41

入出浴操作部　→P.15

外カバー

給湯操作部


薬液補充ランプ →P.39
薬液の残りが少なくなると点灯します。
入浴時間表示 →P.30
入浴の経過時間を表示します。
浴槽内湯温表示 →P.22
浴槽内の湯温を表示します。
入浴時間
1
分
浴槽内湯温
40
℃
浴槽殺菌中ランプ →P.37
浴槽殺菌中に点灯します。
浴槽水殺菌中ランプ →P. 38
浴槽水殺菌中に点灯します。
殺菌中ランプ→P.37-38
塩素殺菌装置作動中に点灯します。
電源
2秒押し
殺菌中
浴槽水
うすい
殺菌
停止
浴槽
濃い
長く押す
薬液補充
殺菌
電源スイッチ →P.20-21
電源の切／入ができます。
殺菌停止スイッチ→P.37-38
塩素殺菌装置が停止します。
浴槽水殺菌スイッチ →P.38
浴槽水の殺菌を開始します。
浴槽殺菌スイッチ →P.37
浴槽の殺菌を開始します。



給湯温度表示 →P.23

浴槽への給湯温度、または設定温度を表示します。
44℃以上…点滅

自動給湯ランプ →P.23

自動給湯作動中は点灯し、完了すると消灯します。

差し湯ランプ →P.24

差し湯が作動中は点灯します。

差し湯　切／入スイッチ →P.24

押すごとに差し湯の切／入ができます。

自動給湯　切／入スイッチ →P.23

押すごとに自動給湯の切／入ができます。

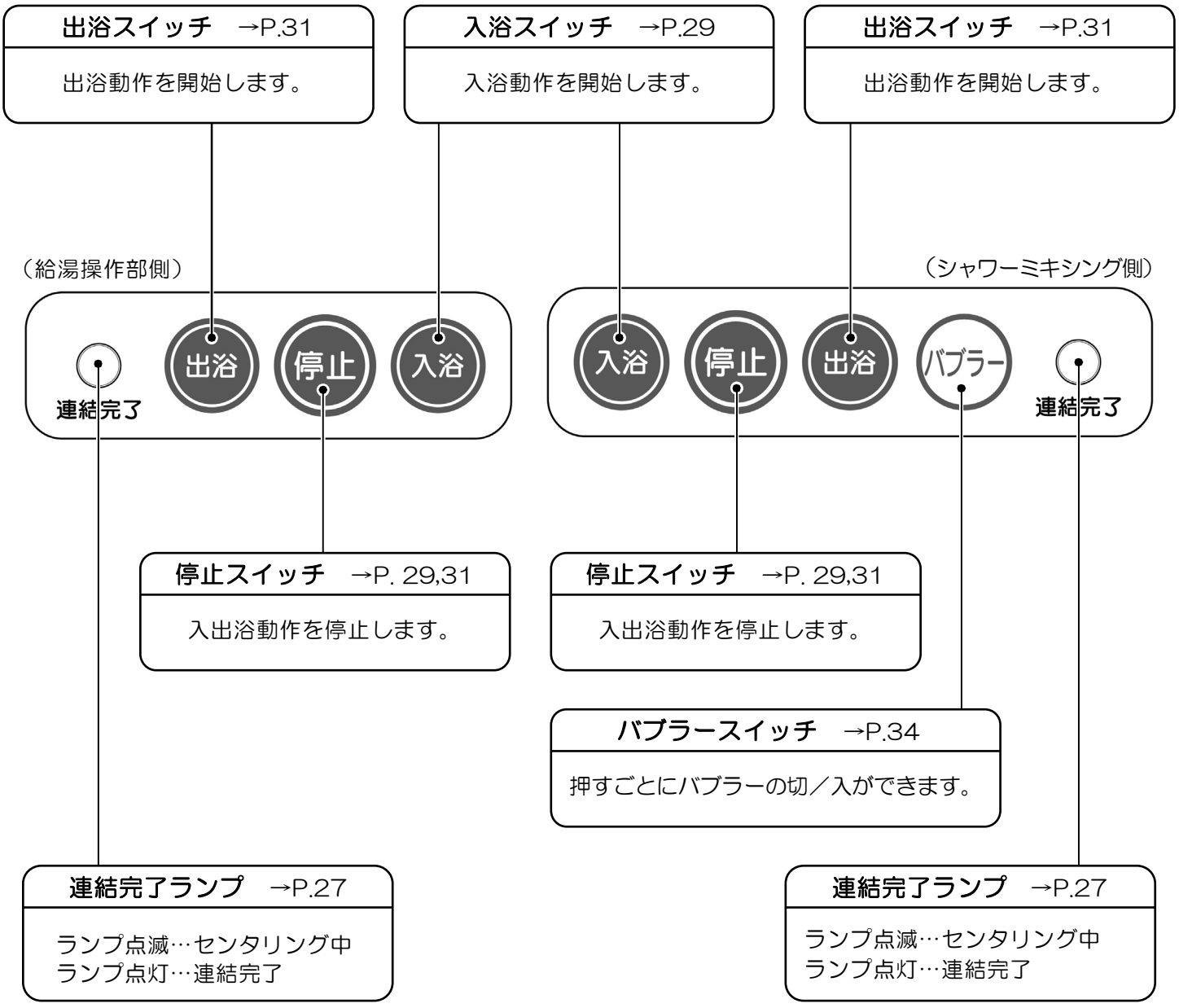
あついスイッチ →P.23-24

押すごとに給湯温度設定を１℃ずつ上げることができます。

ぬるいスイッチ →P.23-24

押すごとに給湯温度設定を１℃ずつ下げることができます。

入出浴操作部


出浴スイッチ　→P.31
出浴動作を開始します。
入浴スイッチ　→P.29
入浴動作を開始します。
出浴スイッチ　→P.31
出浴動作を開始します。
（給湯操作部側）
（シャワーミキシング側）
出浴
停止
入浴
連結完了
入浴
停止
出浴
バブラー
連結完了
停止スイッチ　→P. 29,31
入出浴動作を停止します。
停止スイッチ　→P. 29,31
入出浴動作を停止します。
バブラースイッチ　→P.34
押すごとにバブラーの切／入ができます。
連結完了ランプ　→P.27
ランプ点滅…センタリング中
ランプ点灯…連結完了
連結完了ランプ　→P.27
ランプ点滅…センタリング中
ランプ点灯…連結完了

ご使用になる前に

組み合わせ

浴槽の種類

浴槽は、左右からストレッチャーを連結して入浴できるC（センター）タイプと、片側のみのRタイプ、Lタイプがあります。

周辺装置（別売り）

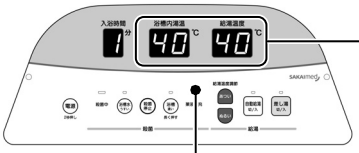
担架（上肢用サイドフェンス、フットガード付き）　・・・WS-400
担架　・・・WS-405
電動昇降式ストレッチャー　・・・ST-410
固定式ストレッチャー　・・・ST-400

用途に応じて、浴槽・担架・ストレッチャーの組み合わせで使用します。
操作方法については、各々の取扱説明書をご覧ください。

ご使用になる前に

始業点検について

ご使用前に**始業点検項目**にもとづき、始業点検を実施してください。



⑤温度表示・入浴時間表示は点灯していますか？

⑨浴槽内温度表示は浴槽内の湯温と合っていますか？

⑦給湯中の給湯温度表示と実際の湯温は、合っていますか？

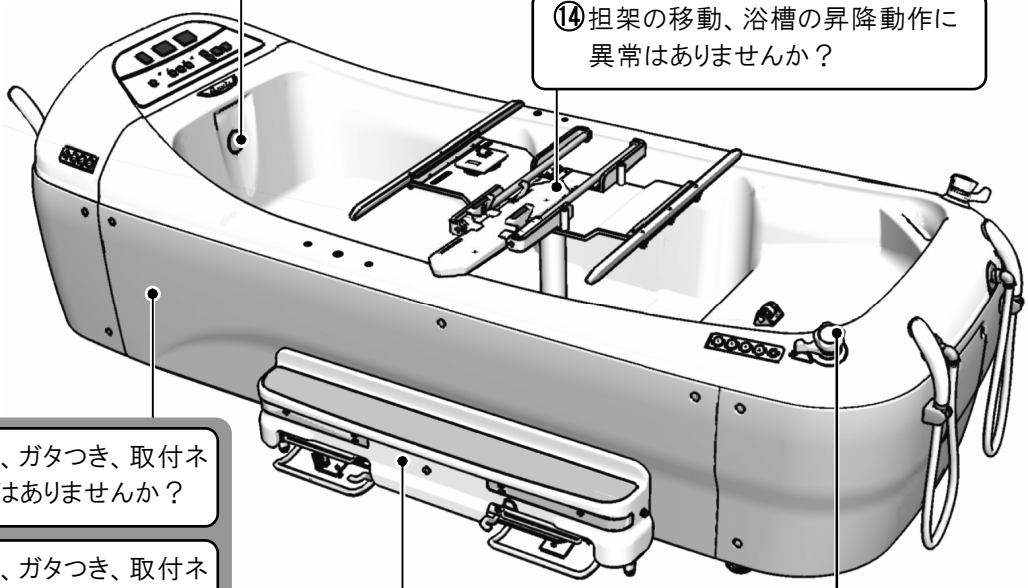
⑩高温時　44℃以上で給湯温度表示が点滅し、46℃以上で給湯が自動停止しますか？

⑧自動給湯、差し湯の温度表示と実際の湯温は、合っていますか？

⑥薬液補充ランプが点灯していませんか？

④給湯口からの湯の漏れはありませんか？

⑭担架の移動、浴槽の昇降動作に異常はありませんか？



②外カバーの外れ、ガタつき、取付ネジの緩み、脱落はありませんか？

⑮内カバーの外れ、ガタつき、取付ネジの緩み、脱落はありませんか？

⑪シャワーミキシングの温度調節は行なえますか？

⑫シャワーが高温（43℃以上）の時に高温警告ランプは点灯しますか？

③ガイド、センタリング機構部のガタつき、取付ボルトの緩み、脱落はありませんか？

⑬ストレッチャーの連結操作、解除操作に異常はありませんか？

①浴槽の周囲に障害物はありませんか？

始業点検チェックリスト：ロベリア　浴槽（ROB-400）　　**点検日　　年　　月　　日**

	項目	点検内容	点検方法	ﾁｪｯｸ	備考
電源投入前	①	障害物の有無	目視	□ OK・□ NG	
	②	外カバーの外れ、ガタつき、取付ネジの緩み、脱落	目視	□ OK・□ NG	
	③	ガイド、センタリング機構部のガタつき、取付ボルトの緩み、脱落	目視	□ OK・□ NG	
	④	給湯口からの湯の漏れ	目視	□ OK・□ NG	
電源投入後	⑤	温度表示･入浴時間計の点灯	目視	□ OK・□ NG	
	⑥	薬液の量	薬液補充ランプの消えていることを確認	□ OK・□ NG	
	⑦	給湯中の給湯温度表示	手を給湯口にあてて湯が適温であることを確認し、表示と比較	□ OK・□ NG	
	⑧	自動給湯、差し湯の温度表示と温度の確認	給湯温度設定を高温、低温に設定し、温度が温度表示と合っているか確認	□ OK・□ NG	
	⑨	浴槽内温度表示の表示内容確認	水深 25 ㎝程度まで給湯し、手で槽内の湯が適温であることを確認し、表示と比較	□ OK・□ NG	
	⑩	高温時の警告及び給湯停止	高温側(45℃)に調整し給湯温度表示の数字が点滅し、46℃以上になったとき給湯が停止することを確認 **(確認後、40℃前後の適温に戻すこと)**	□ OK・□ NG	
	⑪	シャワーミキシングバルブの温度調節	シャワーを出しながら温度調整ノブを回し高温低温の調節が可能か手で確認 **(確認後、40℃前後の適温に戻すこと)**	□ OK・□ NG	
	⑫	シャワー高温警告ランプの確認	シャワーを出しながら温度調節ノブを高温側に回し､警告ランプが点滅することを確認 **(確認後、40℃前後の適温に戻すこと)**	□ OK・□ NG	
	⑬	連結動作	・ ストレッチャーをガイドに押し当て、連結動作に問題ないことを確認(連結後、連結完了ランプの点灯を確認) ・ ストレッチャーの解除ペダルを踏み、ストレッチャーの連結が解除できることを確認(連結完了ランプの消灯を確認)	□ OK・□ NG	
	⑭	担架の移動及び浴槽の昇降動作	･担架を浴槽に移動しロックさせ、入浴スイッチを押して、オートスライド及び浴槽の昇降動作に異常が無いことを確認。 ･昇降動作中に異音が発生しないことを確認。 ･出浴させ、担架をストレッチャーに戻す時に担架がストレッチャーの外側に脱落しないことを確認。	□ OK・□ NG	
	⑮	内カバーの外れ、ガタつき、取付ネジの緩み、脱落	目視	□ OK・□ NG	

これ以外でも部品が破損しているなど、日頃お使いになられていたときとは違う異常を感じましたら、本製品を使用せずに、電源を切って最寄りの営業所にご連絡ください。尚、故障中は故障した機器を誤って使用しないように、周囲の方が分かるように表示（故障中の貼り紙等）をお貼りください。

ご使用になる前に

入浴剤、薬液の使用について

入浴剤について

入浴剤は液状のものを使用してください。
入浴剤を使用する場合は、入浴剤の使用上の注意をよく読んで、浴槽（FRP）や配管等に悪影響を及ぼすような成分(イオウ等)の入った入浴剤は使用しないでください。

⚠ **注意**　**・イオウ成分の入った入浴剤は、使用しない**

ご使用になると、浴槽の金属部が腐食等を起こしたり、浴槽表面の光沢を失ったりする恐れがあります。

・粉末状の入浴剤は使用しない

ご使用になると、溶け残ったものが配管内に付着して故障の原因になる恐れがありますので、入浴剤は液状のものを使用してください。
どうしても粉末状の入浴剤を使用したい場合は、別容器でよく溶かしてから使用してください。ただし、粉末状の入浴剤を使用したことによる故障については、**保証期間内の製品でも保証対象となりませんのでご注意ください。**

・着色剤が入った入浴剤を使用する際は注意する

色や、においが付くことがありますのでご注意ください。

薬液について

本製品の塩素殺菌装置は、次亜塩素酸ナトリウム(1.5%溶液)専用です。他の薬液を使用したり、他の溶液と混ぜて使用しないでください。

推奨品：㈱オーヤラックス製「ピューラックス(濃度 6%)」
（付属の希釈ボトルで次亜塩素酸ナトリウム(濃度 6%)を 4 倍に希釈して使用）

消耗品の補充に関しては、P.49 をお読みください。

⚠ **危険**　**次亜塩素酸ナトリウムは酸性の製品の近くに置いたり、一緒に用いない**

人体に有害な塩素ガス等の発生の恐れがあります。

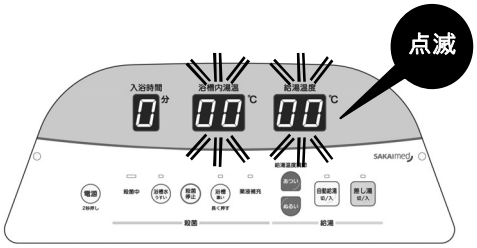
操作方法

電源の操作

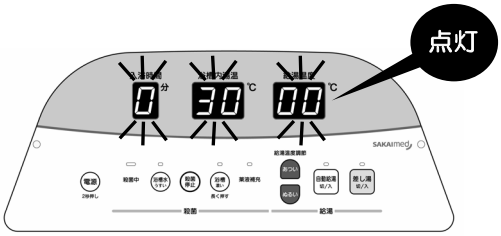
電源を入れる

1. 配電盤内にある専用の安全ブレーカーを ON にします。

安全ブレーカーを ON した後、機械はセットアップを開始します。(最長約 35 秒間)
その間、浴槽内湯温表示と給湯温度表示が点滅し、セットアップ中であることをお知らせします。
（点滅中の表示は、温度とは関係ありません）
点滅が終了すると、機器が使用可能となります。



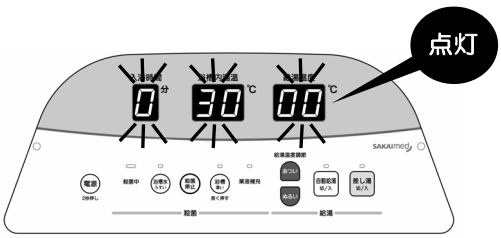
2. 表示部の点灯を確認します。



＜電源スイッチにて一時的に表示ランプ類を消灯させている場合＞

1. 電源スイッチを約２秒間長押しします。

2. 表示部の点灯を確認します。



操作方法／電源の操作

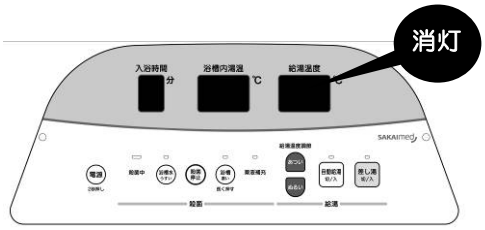
電源を切る

1. 電源スイッチを約２秒間長押しします。

参考

昼休み等で一時的に浴槽操作部の表示ランプ類を消灯させたい場合に、電源スイッチで電源を切ってください。

2. 表示部の消灯を確認します。



3. １日の作業終了後、配電盤内にある専用安全ブレーカーを OFF にします。

⚠ 注意　使用後は電源スイッチで電源を切ってから、配電盤内にある専用の安全ブレーカーを切る

操作方法

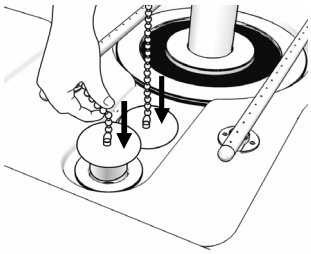
お湯をはる

本製品には火傷防止のため、高温の湯は自動的に停止させ、また浴槽内の湯温が高温の時は浴槽を上昇させない火傷防止機能が内蔵されています。給湯の使用可能な温度範囲は下記の通りです。

<table>
<tr><th></th><th>35℃以下</th><th>36℃</th><th>42℃</th><th>43℃</th><th>44℃</th><th>45℃</th><th>46℃</th></tr>
<tr><td>自動給湯</td><td colspan="3" rowspan="2">給湯可能</td><td></td><td colspan="2" rowspan="2">給湯可能
（給湯温度表示点滅）</td><td rowspan="2">給湯不可
（給湯温度表示点滅）</td></tr>
<tr><td>差し湯</td><td></td></tr>
<tr><td>ハンドシャワー</td><td colspan="4">使用可能</td><td colspan="3">使用可能（警告ランプ点灯）</td></tr>
<tr><td>入浴操作</td><td colspan="4">入浴できます</td><td colspan="3">入浴できません(浴槽内湯温表示 点滅)</td></tr>
</table>

排水栓を閉じる

２ヶ所の排水口に排水栓を入れます。



操作方法／お湯をはる

自動給湯で給湯する

自動給湯は、適正水位まで給湯し自動的に給湯を停止します。

・適正水量より少なくなった場合は、もう一度自動給湯を行うことで、適正水量にすることができます。
少なくなった湯を自動的に補充し続ける機能はありません。

1. 給湯温度表示を見ながら[あつい]、[ぬるい]スイッチを押し、お好みの設定温度に設定します。

43℃以下	44℃	45℃	46℃
給湯可能	給湯可能 （給湯温度点滅）		給湯不可 （給湯温度点滅）

参考

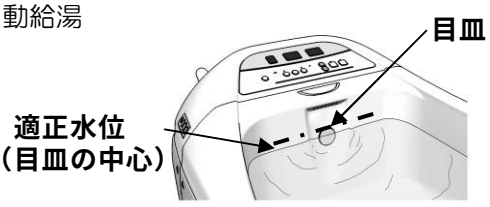
・給湯温度表示は、[あつい]、[ぬるい]スイッチを操作している時は、設定温度を表示します。
設定終了後、約２秒で実際の湯温の温度表示に自動で切り替わります。給湯が開始されていない場合は、配管内に溜まっている水の温度を表示します。

・設定温度が「C0」と表示されると、給湯の際は水に近い温度になります。

2. [自動給湯]スイッチを押します。

・自動給湯ランプが点灯し、給湯口から給湯が開始されます。

・適正水位（目皿の中心）で自動的に給湯が停止し、自動給湯ランプが消灯します。



⚠ 警告　給湯温度を「給湯温度」表示と手で確認

参考

始めの給湯を自動給湯で給湯することで、入浴時にオーバーフローする湯量を節約することができます。（体格差によります）

差し湯で給湯する

差し湯は水位に関係なく、常にお湯を給湯します。

1. 給湯温度表示を見ながらあつい、ぬるいスイッチを押し、お好みの設定温度に設定します。

43℃以下	44℃	45℃	46℃
給湯可能	給湯可能 （給湯温度点滅）		給湯不可 （給湯温度点滅）

参考

・給湯温度表示は、あつい、ぬるいスイッチを操作している時は、設定温度を表示します。
設定終了後、約２秒で実際の湯温の温度表示に自動で切り替わります。給湯が開始されていない場合は、配管内に溜まっている水の温度を表示します。
・設定温度が「C0」と表示されると、給湯の際は水に近い温度になります。

2. 差し湯スイッチを押します。

・差し湯ランプが点灯し、給湯が開始されます。

・差し湯を止めるときは、もう一度差し湯スイッチを押してください。差し湯ランプが消灯し、差し湯が停止します。

⚠ 警告　給湯温度を「給湯温度」表示と手で確認

参考

自動給湯中に差し湯スイッチを押した場合、自動給湯ランプと、差し湯ランプが点灯します。適正水位（目皿の中心）で自動給湯ランプは消灯し、差し湯を続けます。

⚠ 警告　入浴中に高温の湯を差し湯するときは、入浴者の足先にかからないように注意

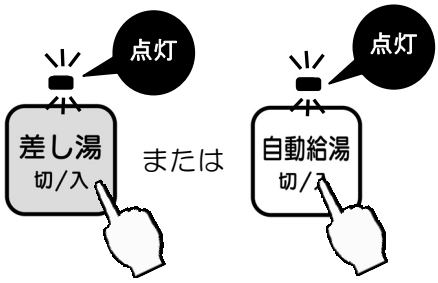
操作方法

給湯が停止した場合

高温の湯（46℃以上）が給湯された場合、火傷防止機能が働き、給湯が自動停止します。
下記の操作を行うことで、給湯を再開することができます。

1. ぬるいスイッチを押し、45℃以下に設定温度を設定します。

2. 自動給湯スイッチ、または差し湯スイッチを押します。



・自動給湯ランプ、または差し湯ランプが点灯し、給湯が開始されます。

注意

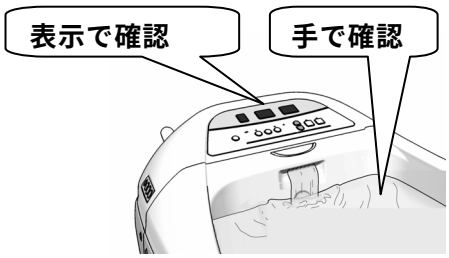
・給湯の設定温度を 45℃以下に設定していた場合でも、浴槽へ接続している配管内の急激な水圧の変動により高温（46℃以上）が約 5 秒間以上続いた場合、火傷防止機能が作動し、給湯が停止することがあります。

・給湯再開の操作後も配管内に高温の湯が残っている場合は、火傷防止機能が働き再度給湯が停止することがあります。

入出浴作業

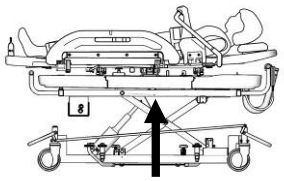
ストレッチャーを浴槽へ連結させる　1～4

1. 浴槽内の湯温を確認します。



> ⚠ **警告**　**入浴前に、浴槽内の湯温を「浴槽内湯温」表示と手で確認**

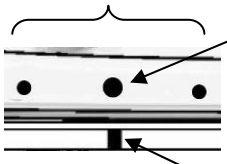
2. ストレッチャーが上限まで上昇していることを確認します。（昇降式ストレッチャーの場合）

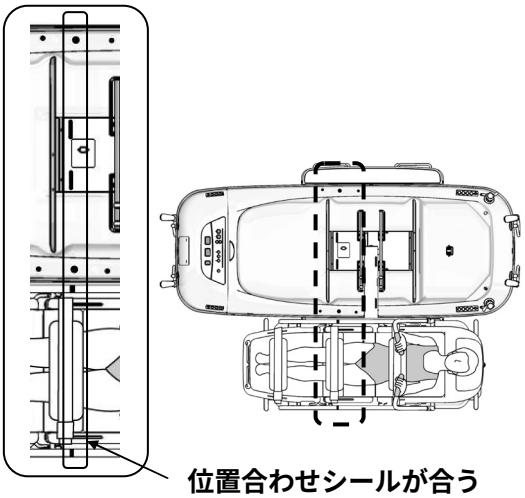


> ⚠ **警告**　**ストレッチャーを浴槽に連結させる前に、必ずストレッチャーを上限まで上昇させる（昇降式ストレッチャーのみ）**

3. 浴槽の位置合わせシールを目安に、担架の青いシールが合うように、ストレッチャーを浴槽側へ押し付けます。

センタリング可能範囲
この範囲内に担架側の位置合わせシールを合わせます。





注意

安全のため、ストレッチャーは浴槽に対して平行に押し付けないと、センタリング機構は作動しません。

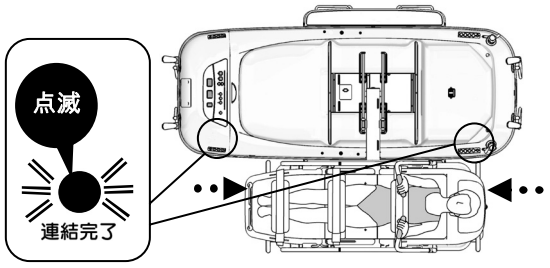
参考

ストレッチャーが連結可能範囲に来たときは、連結完了ランプが点灯します。
そのまま約 1 秒間保持すると、点灯が点滅に変わり、センタリング動作を開始します。

入出浴作業／ストレッチャーを浴槽に連結させる

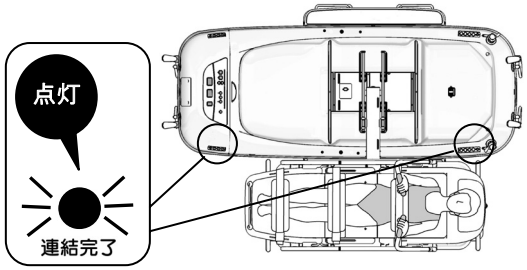
・浴槽とストレッチャーの中心がずれている場合は、センタリング機構により自動的に正規の位置に移動します。

・センタリング中は入出浴操作部の連結完了ランプが点滅します。



⚠ 注意　センタリング中は、介助者の足元に注意する

4. 連結完了後、入出浴操作部の連結完了ランプの点灯を確認します。



注意

センタリング機構により、ストレッチャーは浴槽に連結されているので、キャスターをロックさせる必要はありません。

⚠ 警告　・ストレッチャーを浴槽へ連結後、連結完了ランプの点灯を確認すること
・担架のロック解除レバーは、連結ランプの点灯を確認するまで操作しない

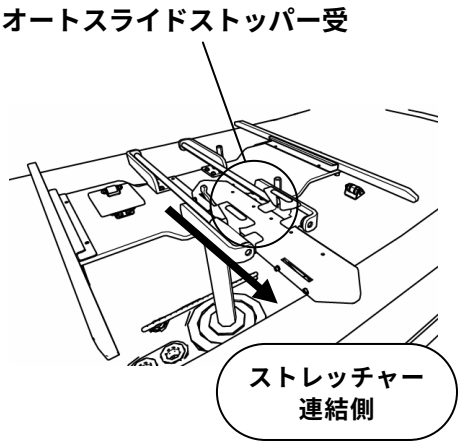
注意

浴槽昇降中はセンタリング機構が作動しません。
浴槽昇降後に連結操作を行ってください。

入出浴作業

担架を浴槽内へ移動させる

1. オートスライドストッパー受の位置が、ストレッチャーの連結側に移動しているか確認します。

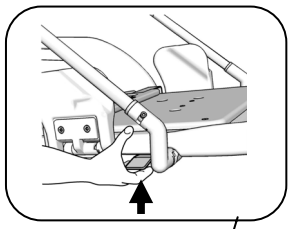


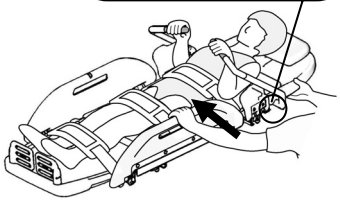
注意

担架を浴槽内に移動する前にオートスライドストッパー受がストレッチャー連結側にあることを確認してください。ストレッチャー連結側の反対側にあるときは、担架を浴槽内に移動できません。

・オートスライドストッパー受がストレッチャーの連結側の反対側にある場合は、連結側の出浴スイッチを押して、オートスライドを連結側へ移動してください。

2. 担架のロック解除レバーを握り、担架のロックを解除し浴槽内にゆっくりと移動します。



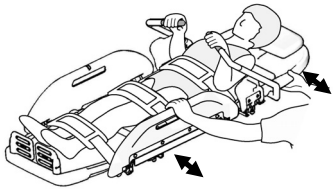


参考

ストレッチャーを浴槽へ押し付ける際に連動してストレッチャーの中央スライド式水受盤が自動的に奥へ引き込まれますので、担架の移動をより浴槽へ接近した位置まで踏み込んで行うことができます。

⚠ 警告　担架を移動し始めたら、必ず担架ロック解除レバーから指を離す

3. 移動後、担架が浴槽にロックされていることを確認します。

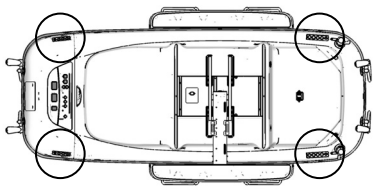


⚠ 警告　・担架を浴槽に移動し、浴槽にロックした後は、押し引きしてロックを確認
・担架の移動は、最後まで手を添えてゆっくりと行う

入出浴作業

浴槽を上昇させ入浴させる

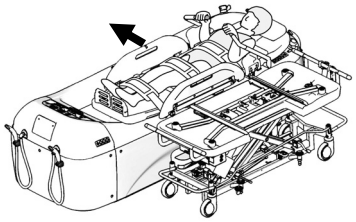
入浴操作は浴槽の前後左右にある４ヶ所の入出浴操作部で行います。
（センタータイプのみ。R/Lタイプは片側前後にある２ヶ所の入出浴操作部）



火傷防止機能により、入浴操作ができる温度範囲は下記の通りです。

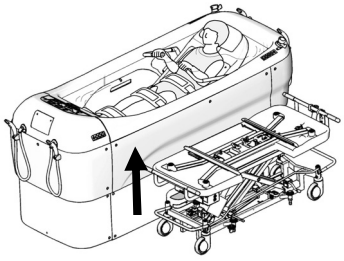
35℃以下	36℃	42℃	43℃	44℃	45℃	46℃
入浴できます				入浴できません（浴槽内湯温表示 点滅）		

1. 入浴スイッチを押し、入浴します。



・担架が浴槽の中央にスライドします。

・浴槽の上昇に連動して、担架の背もたれが起き上がり(最大約 22 度)、上限まで上昇します。



途中で上昇を止めたい場合は、停止スイッチを押します。

参考

担架の背もたれを持ち上げてリクライニング角度を固定することも出来ます。

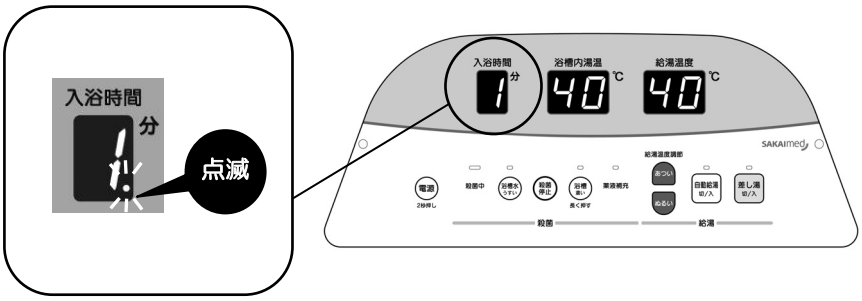
注意

入浴の際に背もたれに寄りかかれない方の場合、自動リクライニング後に浮力により背もたれが浮くことがありますので入浴者の状態に注意してください。

入出浴作業

入浴時間表示の見方

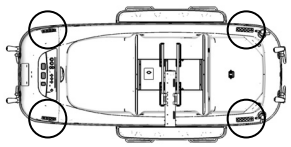
浴槽が上昇し始めると、入浴時間の計測が開始されます。
（時間計右下のドット(・)が点滅し計測中であることを知らせます）
0～9 分までは 1 分毎に表示し、10 分以上は、9.の点滅になります。
出浴操作を行い、オートスライドの動作が完了すると、入浴時間がリセットされ、表示が0に戻ります。



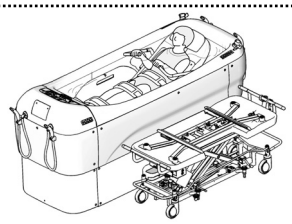
入出浴作業

浴槽を下降させ出浴させる

出浴操作は浴槽の前後左右にある４ヶ所の入出浴操作部で行います。
（センタータイプのみ。Ｒ／Ｌタイプは片側前後にある２ヶ所の入出浴操作部）



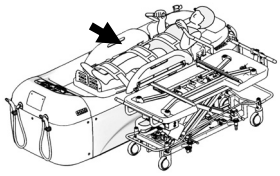
1. 出浴させたい側にストレッチャーが連結されていることを確認します。



2. 出浴させたい側の出浴スイッチを押し、出浴します。

・浴槽の下降に連動して、担架の背もたれが倒れます。

・浴槽が下降し、連結側に担架がオートスライドします。



注意 担架の脱落を防止するため、ストレッチャーが連結されていないと浴槽下降後、担架はオートスライドをしません。その場合は、ストレッチャーを連結し、連結側の出浴スイッチを押してください。

入浴・出浴動作中を途中で止めたい場合には、停止スイッチを押すと停止します。

注意・浮力により担架の背もたれが起きた状態で出浴してしまうことがあります。
その場合、出浴後に背もたれを倒してください。

・担架の背もたれを起こして入浴した場合、浮力でロックが解除されることがあります。

【センタータイプで両側にストレッチャーが連結されている場合の注意　1／2】

⚠注意　入浴中に、担架が載っているストレッチャー連結側の出浴スイッチを押さないこと

担架同士が接触し、機器を破損する恐れがあります。

※ 万一、担架が載っているストレッチャー連結側の出浴スイッチを押してしまった場合は、停止スイッチを押してオートスライドを停止させてください。停止後、担架が載っていないストレッチャー連結側の出浴スイッチを押し、担架を移動させてください。

・ 停止スイッチを押さないと、担架同士が接触し、機器を破損する恐れがあります。

入出浴作業

【センタータイプで両側にストレッチャーが連結されている場合の注意　2／2】

⚠注意　出浴動作後、担架が載っているストレッチャー連結側の出浴スイッチを押さないこと

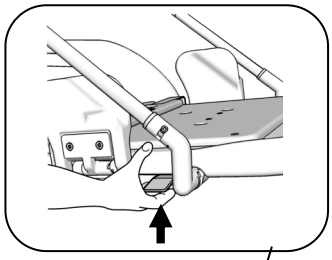
担架同士が接触し、機器を破損する恐れがあります。

※万一、出浴させた担架を担架が載っているストレッチャー連結側に移動させてしまった場合は、安全装置が作動し浴槽の中心付近でオートスライドが停止します。その場合、担架が載っていないストレッチャー連結側の出浴スイッチを押し、担架を移動させてください。

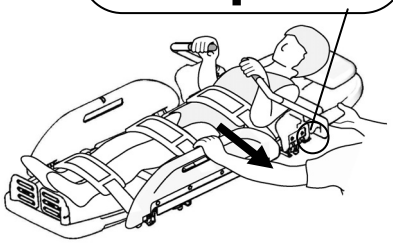
・安全装置作動後、再度担架が載っているストレッチャー連結側の出浴スイッチを押すと、担架同士が接触し、機器を破損する恐れがあります。

担架をストレッチャーへ移動させる

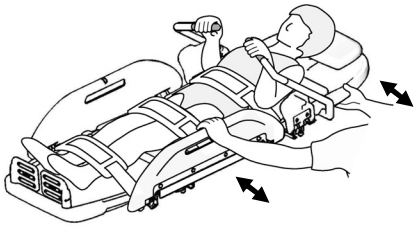
1. 担架のロック解除レバーを握りロックを解除後、担架をストレッチャー上にゆっくりと戻します。



⚠警告　担架を移動し始めたら、必ず担架ロック解除レバーから指を離す



2. 移動後、担架がストレッチャーにロックされていることを確認します。

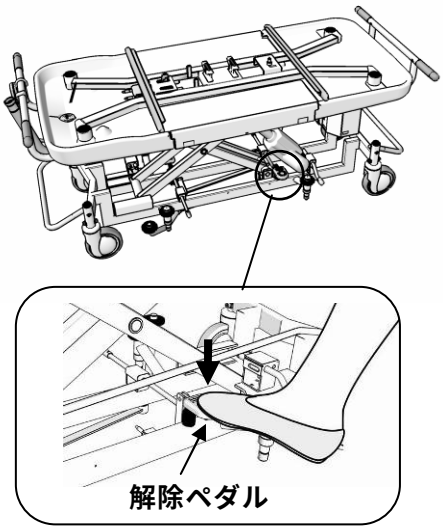


⚠警告　担架をストレッチャーにロックした後は、押し引きしてロックを確認

操作方法

ストレッチャーの連結解除

1. ストレッチャーの解除ペダルを約 1 秒踏みます。



⚠警告　担架がストレッチャー、または浴槽にロックされたことを確認するまで解除ペダルを踏まない

⚠警告　解除ペダルには極端な荷重をかけない

・入出浴操作部の連結完了ランプが点滅します。

2. 連結完了ランプの消灯を確認後、ペダルから足を離し、ストレッチャーを移動します。

注意

浴槽昇降動作中はセンタリング機構が作動しません。
浴槽昇降完了後に連結解除操作を行ってください。

※ストレッチャーを浴槽に連結させる際は、P.27 の「ストレッチャーを浴槽へ連結させる」を参照してください。

⚠注意　ペダルを踏んだままストレッチャーを移動しない

操作方法

バブラーの使い方

1. バブラースイッチを押します。

・浴槽の底面の気泡発生管から気泡が出ます。

停止するときは、もう一度バブラースイッチを押します。

参考

・バブラーは浴槽内に湯がなくても操作可能です。配管内に残った湯を排出するためにご使用頂けますので、P.42 の清掃時の操作と合わせてご利用ください。

・浴槽内に湯が無い状態でバブラーを使用すると配管内に残った湯が飛び散るので、注意してください。

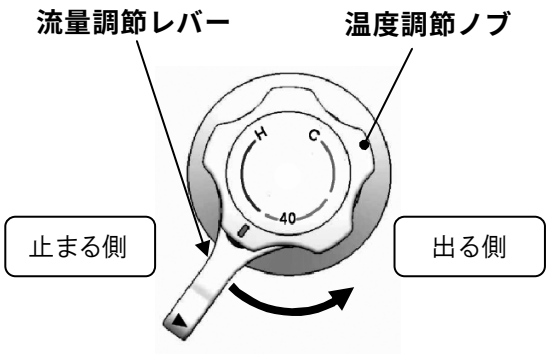
操作方法

シャワーの使い方

1. 流量調節レバーで、流量調節を行います。

・シャワーヘッドから湯が出始めるので、注意してください。

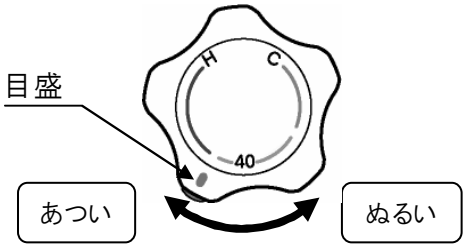
⚠ 注意　流量調節ノブはゆっくり回す



2. 温度調節ノブで、シャワーの温度調節を行います。

・温度調節ノブをHの方に回すと温度が上がり、目盛「40」の付近まで調節できます。

・温度調節ノブをCの方に回すと温度が下がります。

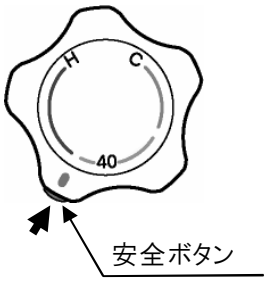


⚠ 警告　・シャワーを入浴者にかける前だけでなく使用中も絶えず手で温度を確認
・シャワーをかけたままにして入浴者から離れない

40℃以上の湯を出すには、安全ボタンを押しながら、温度調節ノブで温度を調節してください。

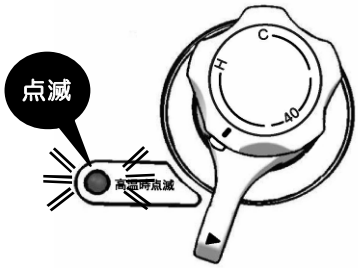
・温度調節ノブは誤って高温の湯を出さないように、安全ボタンが付いています。

・やけどを防止するため、通常はノブの停止位置より温度の低い範囲でご使用ください。



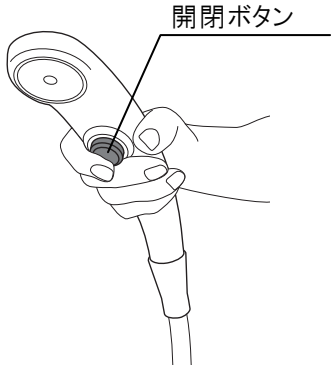
操作方法

シャワーの湯温が 43℃以上になった場合は、高温警告ランプが点滅して、高温であることを知らせます。



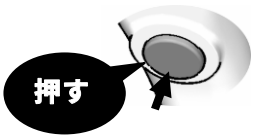
36℃以下	36℃	42℃	43℃	44℃	45℃	46℃以上
使用可能			使用可能（警告ランプ点灯）			

一時的にシャワーを止めたい場合は、開閉ボタンを押します。

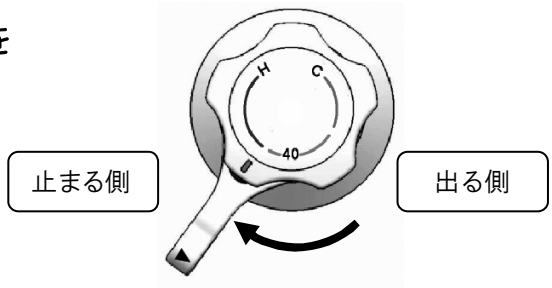


閉じる
(止める)

開く
(出す)



3. 流量調節レバーを止まる側に回し、シャワーを止めます。



⚠注意　シャワーの使用後は、シャワーの開閉ボタンを「開く」の状態にしたまま湯量調節レバーでシャワーを止める

操作方法

塩素殺菌

浴槽殺菌 （全工程 約 10 分）

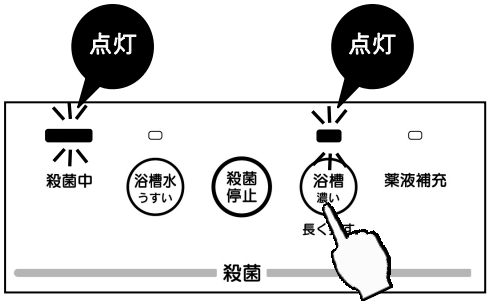
浴槽と担架を殺菌することができます。
適正湯量に対して約 1.0ppm 分の量の薬液を吐出し、浴槽と担架の殺菌を行うものです。
毎日の入浴作業終了後に行うことをお奨めします。

1. 自動給湯スイッチを押します。

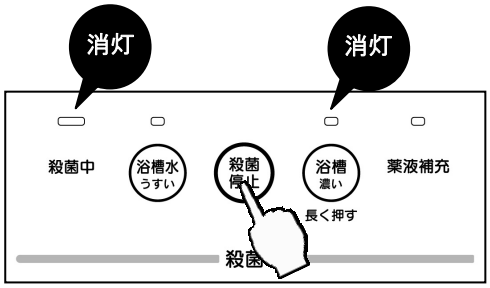
・適正水位（目皿の中心）まで給湯されていること
を確認し、不足している場合は給湯してください。

2. 浴槽濃いスイッチを約４秒間長押しします。

・上部の表示ランプが点灯するまで長押ししてください。
殺菌中ランプも点灯し、自動的に薬液が吐出されます。

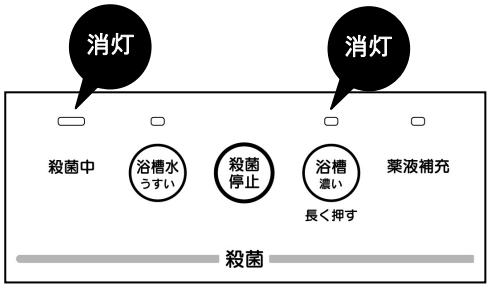


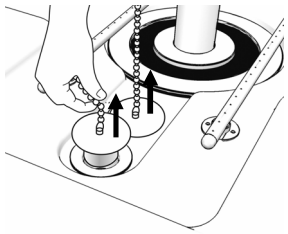
浴槽の殺菌を途中で停止する場合は、
殺菌停止スイッチを押してください。



3. 表示ランプと殺菌中ランプ消灯後、3 分間以上放置した後に、浴槽の湯を排水してください。

P.42 の浴槽内の清掃方法に従って清掃してください。





操作方法

浴槽水殺菌

浴槽の湯を殺菌することができます。
適正湯量に対して約 0.6ppm 分の量の薬液を吐出し、浴槽水(お湯)の殺菌を行うものです。
昼休み時間(菌の増殖を抑える)や、失禁等による湯の入れ替え後に行ってください。

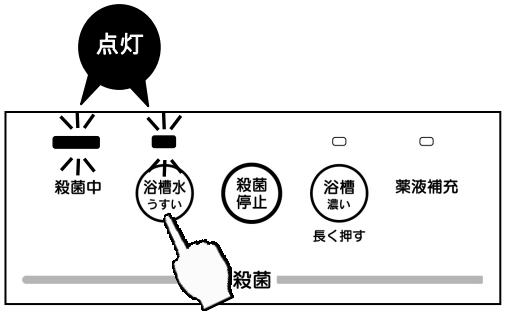
1. 自動給湯スイッチを押します。

・適正水位（目皿の中心）まで給湯されていること
を確認し、不足している場合は給湯してください。

2. 浴槽水うすいスイッチを押します。

・上部の表示ランプと殺菌中ランプが点灯し、自動的に薬液が浴槽水へ吐出されます。

・薬液吐出後、バブラーによる攪拌が自動的に２度行なわれ、浴槽水の殺菌が終了すると、表示ランプは消灯します。

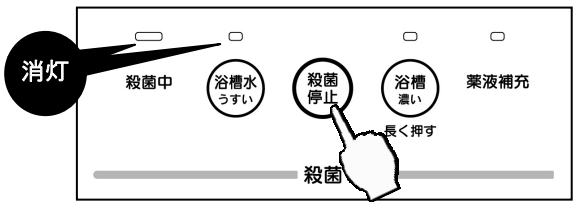


注意

・浴槽内の水位が適正水位（目皿の中心）より少ない場合、殺菌装置は作動しません。

・浴槽水殺菌は、繰り返し操作による薬液濃度の上昇を防止するため、スイッチの操作後、**約１時間は殺菌中ランプが点灯し、再操作できないようになっています。**再度浴槽水の殺菌を行う場合は、殺菌中ランプ消灯後に行ってください。

途中で停止する場合は、殺菌停止スイッチを押してください。



参考　「公衆浴場における衛生等管理要領について」（抜粋）
厚生省(現厚生労働省)通達　(生衛発第 1811 号、H12.12.15)

●適用の範囲：公衆浴場及び浴場業

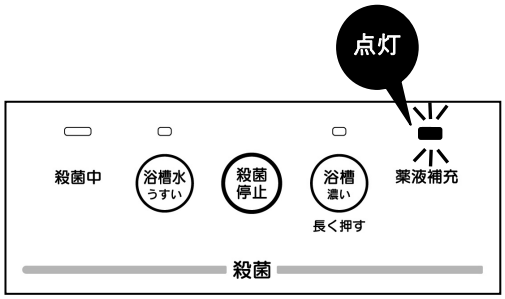
・浴槽の清掃は毎日、消毒は月一回以上行うこと。ろ過装置付きの場合は、ろ過部の消毒及び逆洗を週一回以上行うこと。

・浴槽水の消毒に用いる塩素系薬剤の濃度は、遊離残留塩素濃度を１日２時間以上 0.2～0.4 mg/L《ppm》に保つことが望ましい。

操作方法

薬液補充について

薬液が少なくなると、薬液補充ランプが点灯します。
点灯した場合は、速やかに薬液を補充してください。
補充は、次の手順で行ってください。



薬液の作り方

次亜塩素酸ナトリウムを 4 倍に希釈し 1.5%溶液を作ります。

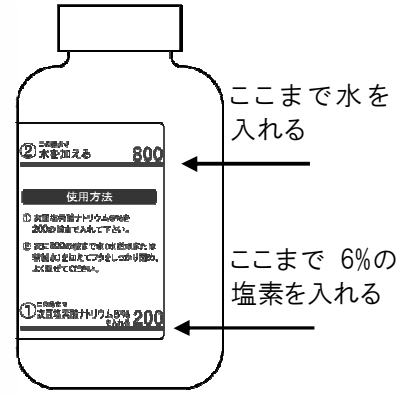
＜用意するもの＞

①付属の希釈ボトル
②市販の 6%次亜塩素酸ナトリウム 200mL
③水道水または精製水 600mL
④保護具（ゴム手袋）

⚠注意 使用期限内のものを使用する

1. ゴム手袋を着用します。

2. 付属の希釈ボトルの蓋を開け、市販の次亜塩素酸ナトリウム 6%溶液を 200 の線まで入れます。



3. 水（水道水または精製水）を 800 の線まで加えます。

4. 蓋をしっかり閉めて、よく混ぜてください。

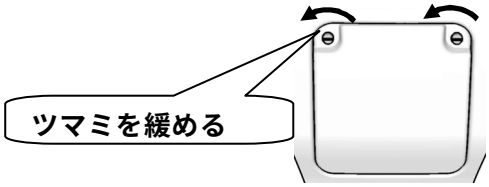
操作方法

薬液の補充方法 1～8

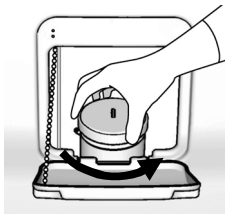
1. 出浴スイッチを押して、浴槽を最下位まで下げます。

2. 電源スイッチを長押しし、電源を切ります。

3. ２ヶ所のツマミを緩め、薬液メンテナンスカバーを開けます。

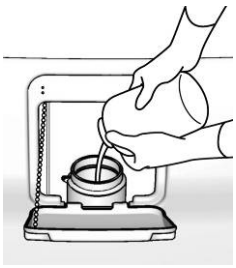


4. 薬液タンクの注入口の蓋を反時計回りに回して開けます。



5. 希釈した薬液を、こぼさないように薬液タンクに入れます。

⚠注意　補充薬液は濃度が 1.5%のものを使用する

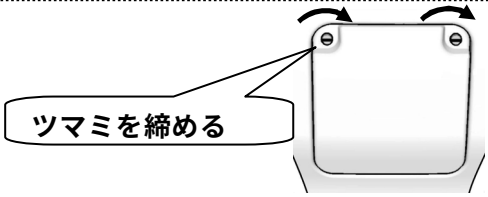


参考

薬液タンクは、薬液補充ランプが点灯後、希釈ボトル１本分（800 mL）補充できます。

6. 薬液タンクの注入口の蓋を時計回りに回して閉めます。

7. 薬液メンテナンスカバーを閉め、２ヶ所のツマミを締めます。



操作方法／薬液補充について

8. 希釈ボトルを水でよく洗浄します。

> ⚠ **注意　薬液補充の際は注意する**
>
> ・十分に換気を行い、保護具（ゴム手袋）を着用してください。
>
> ・浴槽を最下位まで下げた状態で行ってください。
>
> ・周囲に薬液がこぼれた場合は水でよく洗い流してください。床やフレーム等の変色や錆の原因となります。
>
> ・希釈した薬液は、1 回毎に使い切り、作り置きはしないでください。
>
> ・空になった容器は、よく洗い流して保管してください。

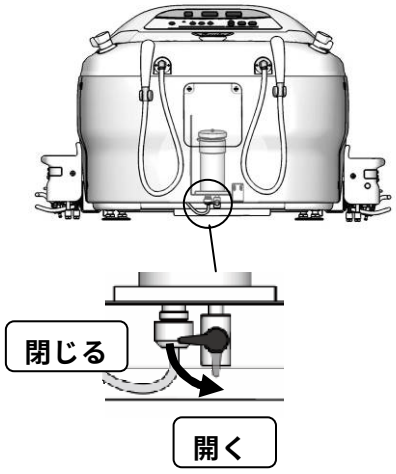
タンク内の薬液の排出

薬液タンク内の薬液は、補充してから 30 日を過ぎた場合、経時変化により殺菌効果が弱くなります。
その際は、下記操作にてタンク内の薬液を排出し、新しい薬液に入れ替えてください。

1. タンク下のドレンコックを下へ回します。

・薬液排出後は、忘れずにコックを左に回してください。

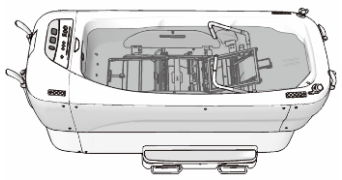
・排出した薬液は、速やかによく水で洗い流してください。



日常のお手入れ

清　掃

1日の入浴作業終了後は、下記の方法で清掃を行ってください。

部品名	清掃方法
浴槽内	① 浴槽内の２ヶ所の排水栓を抜き、排水してください。 ② 浴槽用の中性洗剤とスポンジ等の柔らかいもの使用して洗浄し、よく水で洗い流してください。 ③ 気泡発生管内に残った湯をバブラー機能を使用して排出してください。 ※レール台付近の清掃の際は、レール台に頭をぶつけないように注意してください。 ※浴槽の排水は、浴槽が下降していないと行えません。 ※ホースやシャワー等で洗浄するのは、浴槽内側だけにしてください。外側、特に操作部や操作部後ろのメンテナンスカバーには水をかけないでください。 ※浴室床面を洗う際には水がはねかからないように注意してください。 ※本製品は、ＦＲＰ製のため、たわし等で擦ると傷がつきます。
給湯操作部 入出浴操作部	布で軽く拭く程度にしてください。
ガイド	浴槽用の中性洗剤で洗浄し、よく水で洗い流してください。 ※汚れがひどい場合は、市販の液体クレンザーをご利用ください。 水で洗い流した後は、乾いた布で水滴を拭いてください。
スレンレス部 （レール台等）	ステンレス部は水滴をそのままにしておくと水垢が残り汚くなります。 乾いた布で水滴を拭いてください。
担架のフレーム	浴槽のバブラーを利用して洗浄 担架カバーを外して浴槽に入れ、バブラーを作動させることで担架のフレームを簡易洗浄することができます。 浴槽殺菌と併用することで、フレームの殺菌を行うことも可能です。 

メンテナンス

浴槽レール台の支柱にシリコングリスがなくなった場合は、付属のシリコングリス(信越シリコン G501：付属品)を塗布してください。
消耗品の補充に関しては、P.49 をお読みください。

> ⚠ **注意　当社指定のシリコングリスを使用する**
> 他のグリスを使用すると、故障の原因になります。

本製品は、質の高いアフターサービスを提供するため、浴槽の使用状況を数値で把握することができるメンテナンスモニターを内蔵しています。

> ⚠ **注意　給湯操作部後部のメンテナンスカバーを開けない**

このようなときは

まずは次の内容を確認いただき、なお異常があるときは
最寄りの営業所までご連絡ください。

	このようなときは	ここを確認してください	参照ページ
給湯関係	**自動給湯、差し湯スイッチを押しても、浴槽内に給湯できない**	**●電源は入っていますか？** →①ブレーカーを ON にしてください。 ②給湯操作部の電源スイッチを長押ししてください。	P.20
		●適正水位（目皿の中心）まで給湯されていませんか？ （自動給湯は、適正水位以上は給湯できません） →適正水位（目皿の中心）より、更に給湯したい場合は、差し湯にて給湯を行なってください。	P.24
		●給湯温度が 46℃以上になっていませんか？ （湯温管理システムが作動、温度表示が点滅） →給湯温度の設定を 45℃以下に設定した後、再度自動給湯ボタンを押してください。（給湯温度が 45℃以下に下がった後、浴槽内に給湯されます）	P.25
		●給湯水配管の元バルブが閉じていませんか？ →給湯水配管の元バルブを開けてください。	
	自動給湯が停止しない（自動給湯ランプの消灯）	**●差し湯を行っていませんか？** →差し湯スイッチを押し、差し湯を止めてください。	P.24
		●停電していませんか？ もしくは停電していた後ですか？ →復旧後に自動給湯が自動で停止します。復旧まで時間がかかりそうな場合は、停電中に給湯水配管の元バルブを閉めてください。復旧後は、必ず元バルブを開けてください。	
		●自動給湯開閉弁のトラブル →給湯水配管の元バルブを閉めた後、最寄りの営業所にご連絡ください。	
	給湯水量、または温度が安定しない	**●他の設備で大量に湯を使用していませんか？** →使用する時間をずらす等、使用時間を調整してください。 →給湯機の能力アップをご検討ください。	

	このようなときは	ここを確認してください	参照ページ
給湯関係	**自動給湯ランプ、または 差し湯ランプが点滅している**	●給湯水圧の圧力比が5秒間以上、適正範囲外になっていませんか？ →圧力比が一時的な変動の場合、適正範囲内に戻ると、点滅が点灯に変わり正常に戻ります。 点滅が続く場合、または頻繁に点滅する場合は、最寄りの営業所にご連絡ください。	
連結関係	**ストレッチャーが連結されない （センタリング機構が作動しない）**	●電源は入っていますか？ →①ブレーカーを ON にしてください。 ②給湯操作部の電源スイッチを長押ししてください。	P.20
		●ストレッチャーの押し込みが足りなくないですか？ →ストレッチャーを最後までガイドに押し付けてください。	P.26
		●センタリング可能な範囲（200 ミリ）を超えていませんか？ →浴槽の位置合わせシールの範囲内に担架の位置合わせシールが来るように、連結させてください。	P.26
		●ストレッチャーフックが、ガイドの中心側にありますか？ →中心にない場合は、ガイドの連結解除ボタンを約 1 秒押してください。操作後、ストレッチャーフックが中心側にスライドしますので注意してください。	
		●浴槽が昇降中ではありませんか？ →昇降中は連結操作ができません。	
担架の移動	**担架が浴槽にロックできない**	●オートスライドストッパー受がストレッチャー連結側の反対側、または中央にありませんか？ →①担架をストレッチャー上に戻してください。 ②ストレッチャー連結側の出浴スイッチを押してください。	P.28

このようなときは

このようなときは		ここを確認してください	参照ページ
昇降関係	入浴スイッチを押しても担架が動かない。または浴槽が上昇しない	●**ストレッチャーは正しく連結されていますか？連結完了ランプは点灯していますか？**（安全装置が作動している） →ストレッチャーを正しい位置にセットしてください。	P.26
		●**浴槽内湯温が44℃以上になっていませんか？**（安全装置が作動、温度表示が点滅） →浴槽内湯温を43℃以下に下げてください。	
		●**担架は正しく連結されていますか？** →ストレッチャー連結側の出浴スイッチを押し、オートスライドストッパー受を連結側に移動してください。その後、担架を正しい位置に再度、セットし直してください。	P.28
		●**オートスライド中に停止スイッチを押していませんか？** →ストレッチャー連結側の出浴スイッチを押し、担架を最後までオートスライドさせてください。その後入浴スイッチを押してください。	
		●**満水状態で浴槽の昇降のみ連続して行なっていませんか？**（満水状態で浴槽の昇降のみ連続で行うと安全装置が働き停止する場合があります） →少し時間をあけてから、再度操作してください。	
	出浴スイッチを押しても担架が動かない。または浴槽が下降しない	●**入浴中に電源を落としていませんか？** →電源を入れてください。	P.20
		●**ストレッチャーが正しくセットされていますか？連結完了ランプが消灯していませんか？** →ストレッチャーを正しい位置にセットしてください。	P.26
		●**満水状態で浴槽の昇降のみ連続して行っていませんか？**（満水状態で浴槽の昇降のみ連続で行うと安全装置が働き停止する場合があります） →少し時間をあけてから、再度操作してください。	
	作動時に異音がする	●**レール台支柱のグリスが切れていませんか？** →指定箇所に付属のグリスを塗布してください グリス切れでは無い場合は、最寄りの営業所にご連絡ください。	P.42

	このようなときは	ここを確認してください	参照ページ
バブラー	バブラーが作動しない	**●塩素殺菌中ではありませんか？** →塩素殺菌を停止させるか、塩素殺菌終了後に、バブラーを使用してください。	
塩素殺菌	薬液補充ランプが消えない	**●薬液が補充されていますか？** →薬液を補充してください。 →薬液のドレンコックは閉じてください。	P.39
	浴槽水・浴槽殺菌が作動後、すぐに停止した	**●作動後に適正水位より水位が下がっていませんか？** （適正水位より水位が下がると、殺菌が自動停止します。） →適正水位まで給湯し、再度操作を行ってください。	
その他	安全ブレーカー、または電源をONにしたら、浴槽が下がった	**●セットアップによる動作です。** 異常ではありません。	P.20
	安全ブレーカー、または電源をONにしたら、連結完了ランプとシャワーの高温警告ランプが、短い間隔で点滅する	**●入浴、停止、出浴スイッチのいずれかを押したまま、電源を入れていませんか？** →スイッチが押されていないことを確認してください。 尚、症状が続く場合は、最寄りの営業所にご連絡ください。	P.20
	シャワーヘッドから水が漏れる	**●開閉ボタンの操作のみでシャワーを止めていませんか？** →開閉ボタンを「開く」状態にして、湯量調節ノブでシャワーを止めてください。 （開閉ボタンの操作のみで長時間止水させると、水漏れの原因となります。）	P.36
	シリコングリスを使い切った	→当社指定品のご購入をお願いします。	P.49
	殺菌用の薬液（原液）を使い切った	→当社推奨品のご購入をお願いします。	P.49

このようなときは

給湯操作部の表示	このようなときは	ここを確認してください	参照ページ
	給湯温度表示が「c8」を表示している	**●水に近い温度で給湯される設定になっている** →故障ではありません。そのままご使用ください。	P.23
	給湯温度表示が「00」を点滅表示している	**●電気制御ミキシングのセットアップ中** →セットアップが終了するまで、お待ちください。正常な場合は、約35秒で給湯温度に切り替わります。	
	温度表示が「E0」または「E1」を点滅表示している	**●温度センサーの故障** →最寄りの営業所にご連絡ください。	
	温度表示が「E6」を点滅表示している	**●オートスライドの異常** →操作パネルの電源を切り、再投入後[入浴]または[出浴]操作をしてください。再度「E6」を表示する場合は、最寄りの営業所にご連絡ください。	
	温度表示が「E7」を点滅表示している	**●浴槽制御系の異常** →操作パネルの電源を切り、再度電源を入れてください。次に[出浴]スイッチを押して浴槽を下げます。浴槽が下限まで下降するとリセットされます。 [出浴]スイッチを押しても浴槽が下降しなかったり、傾いて下降して、「E7」が再度表示された場合は、再リセットできません。最寄りの営業所にご連絡ください。	
	温度表示が「E8」を点滅表示している	**●電気制御ミキシングのセットアップが所定の時間内に完了しなかった（約35秒以内）** →操作パネルの電源を切り、再度電源を入れてください。尚、連続して「E8」を表示する場合は、最寄りの営業所にご連絡ください。	
	温度表示が「E9」を点滅表示している	**●昇降装置の異常** →操作パネルの電源を切り、再度電源を入れてください。尚、連続して「E9」を表示する場合は、最寄りの営業所にご連絡ください。	
	入浴時間表示が「U」を表示している	**●電源投入時、オートスライドの位置情報が認識されなかった** →ストレッチャーを連結して、連結側の[出浴]スイッチを押してください。オートスライドが出浴端まで来ると位置が認識されます。	

機器について

保守・点検について

・本製品を使用する際は、機器の管理者の方が下記の点検項目に基づき、必ず P.１７ の始業点検（日常点検）及び定期点検（月１回程度）を実施してください。
・長期間使用しなかった製品を使用再開する場合は、機器が正常に動作するか十分な点検を行ってください。
・**点検時に異常が発見された場合は、製品の使用を中止して最寄りの弊社営業所までご連絡ください。**
・清掃等の簡単な保守は機器の管理者等によって実施するようお願いいたします。

● 定期点検項目　（月に１回程度、以下の定期点検を行ってください。）

区分	点検内容	点検方法
設備	・排水溝内のごみの有無と排水の流れの状態	・目視（ごみがあれば除去し清掃する）
外観	・湯及び水配管からの漏れ	・浴槽下を覗いて、床に漏れた跡がないことを確認
	・薬液配管からの漏れ	
	・シャワーホースとシャワーヘッドの破損	・目視
（浴槽動作時）機能	・オートスライドの動作（センタータイプのみ）	・担架の無い状態でスイッチ操作によりオートスライド部を左右に移動させ、その動きが浴槽中心に対し左右対称であることを確認（浴槽縁からのオートスライドの端部との出っ張り量が左右ほぼ同じであること）
	・給湯温度の表示	・市販の棒状温度計で給湯口の吐出湯温を測定し表示と比較する（表示差±1℃以内が正常）
	・浴槽内温度の表示	・あらかじめバブラーにより2～3分湯を攪拌した後、棒状温度計で浴槽内の湯温（水深 25 ㎝程度の位置）を測定し、表示と比較する（表示差±1℃以内が正常）

● 定期保守点検契約のお勧め

製品を長期間正常な状態で安全に使用できるように保証期間後の「保守点検契約」の締結をお勧めします。詳しくは別添の「保守点検契約のお勧め」をご覧になるか、最寄りの弊社営業所へお問い合わせください。

機器について

保証とアフターサービス

保証書と保証期間

- 保証書（別添）は再発行致しませんので紛失されないよう大切に保管してください。保証書がないと保証期間中でも有償修理とさせていただく場合があります。
- 保証期間は 1 年です。但し本体フレームおよび FRP 部品は 5 年間です。保証の規定につきましては保証書をご覧ください。

修理をご依頼いただく場合

- 修理をご依頼いただく場合は、下記のことをお知らせください。
  機種名　　：　*ROB-400*
  お買い上げ：　　年　月　日
  故障状況（できるだけ詳細に）
  住所，氏名，電話番号
- メーカーより指示のあるとき以外は、決してカバーを開けたり、機器を分解したりしないでください。

耐用期間

10 年：保守点検などの当社推奨環境で使用された場合

消耗品（使用により、量などが減少していくもの）

シリコングリス	（当社指定品:信越シリコンG501）
次亜塩素酸ナトリウム6%溶液	（当社推奨品:ピューラックス　濃度6%）

補充は、お客様により実施願います。

損耗品（使用により、磨耗･劣化･変質等が生じ、本来の機能が発揮できなくなるもの）

- 正常な使用において、交換の目安が**約２年**のもの。

シャワーヘッド
薬液ポンプの継手配管
薬液チューブ

- 正常な使用において、交換の目安が**約３年**のもの。

シャワーホース
給湯給水ホース
排水ホース

機器について

損耗品の交換時期が来ましたら弊社営業所までご用命ください。点検して必要により有償交換いたします。

保守用性能部品の保有期間

保守用性能部品の保有期間は、販売中止後 10 年です。ただし、性能部品が製造中止などにより入手不可能になった場合は、保有期間が短くなる場合もあります。

機器について

仕 様

型　　式		ROB-400C､R､L
外形寸法	400C	2585(Ｌ)×1340(W)×810～1240(Ｈ)mm
	400R､L	2585(Ｌ)×1170(W)×810～1240(Ｈ)mm
浴槽内寸法		1925(Ｌ)×735(W)×450(Ｄ)mm
湯　　量		約 450 リットル
質　　量		約 500 kg
最大搭乗質量(担架上入浴者)		100kg
昇降ストローク		430 mm
電　　源		三相 200V　50Hz/60Hz　20A
電　　力		730 W（50Hz）　/820 W（60Hz）
材質	フレーム	スチール・粉体塗装
	レール台	ステンレス・一部粉体塗装
	浴槽・カバー	FRP
昇降方式		電動アクチュエーター式：DC24V
機能	オートスライド機構	スライド量：片側 240 mm ブレーキ付電動モータ：単相 200V25W
	自動給湯システム	適正水位自動停止、高温時自動停止
	バブラー	送風機：三相200V220W
	殺菌装置	殺菌方法：次亜塩素酸ナトリウム ポンプ：DC24V
	自動リクライニング	ローラー式
	センタリング機構	電動アクチュエーター式：DC24V
安全機構		インターロック機構、火傷防止機能（高温給湯停止、浴槽内高温時オートスライド停止)、担架スライド防止機能、漏電ブレーカー
その他		入浴時間表示
付属品		シリコングリス、ハケ、 次亜塩素酸ナトリウム 6%溶液・600ｍＬ、 希釈ボトル

注．都合により予告なく仕様の変更を行う場合があります。